

## 第5章 鹿嶋の観光交流を推進する8つのプロジェクト～観光新八景

### 5 - 1 スポーツ・お祭り交流推進プロジェクト

魅力

#### プロジェクトの目的

##### <目的>

スポーツやお祭りによる交流促進の環境を整備することによって、地域内外の交流をより一層活性化させること

鹿嶋市は、鹿島アントラーズのホームタウンということもあり、サッカーなどをはじめとするスポーツの盛んな地域である。市内では、複数のスポーツイベントも開催され、地域内外のスポーツクラブ同士の交流試合が行われている。また、茨城県や鹿嶋市の諸計画においてもスポーツによる観光交流の推進が位置づけられている。

そこで、「スポーツ・お祭り交流推進プロジェクト」では、スポーツ交流を行うためのハード・ソフト両面での環境の充実を図るとともに、地域内外の交流をより一層活性化させるために、スポーツ大会と連携した新たな交流イベントを開催する。

#### プロジェクトの概要

##### <概要>～躍動・感動は仲間づくりのきっかけだ！！

カシマサッカースタジアムへの観戦客をはじめとした来訪者と地域の人々との交流の場となるサロンづくりやイベントの開催と、次世代のカシマの交流を支える人づくりを行う

#### 【交流の拠点としての「(仮称)まちなかスポーツサロン」の開設】

##### まちなかスポーツサロン(チャレンジショップ)の開設

- ・サッカーなどのスポーツを観戦にきた来訪者と地域の人々との交流の場となる「(仮称)まちなかスポーツサロン」を開設する。
- ・サロン開設当初は、まちなかの空き店舗等を活用し、試験的にお店を開店してみたい人を募集し、「Jリーグ開催日やスポーツ大会開催期間等、来訪者・宿泊者が多い日に限定して開店するチャレンジショップ的な位置づけとする。
- ・サロンには、大型のテレビなどを設け、店内でも試合観戦が出来るようにする。
- ・夜間営業の飲食サービスや大型テレビによるスポーツ放映等により、「Jリーグ観戦客やスポーツ合宿などのための宿泊者が集い交流できる空間を創出する。

「井戸端くらぶ@nishiya」は、西谷商栄会(125店)にある空き店舗を利用したレンタルスペース。55あるブースは全て埋まっています、1週間に300人の来店がある。商店街のメンバーも逸品運動の商品を出品者として並べるなど、店舗と住民の協働の場となっている。  
(井戸端くらぶ@nishiya <http://j-net21.smrj.go.jp/info/kouri/jirei/s14-02.html>)



空き店舗の活用に類する事例

ブラジルのパールは、朝は早くから出勤前のサラリーマンや夜勤明けの職人に朝食を、昼は学校帰りの学生や付近の住民に昼食を提供する。午後になると3時のお茶、そして夜になると男性達のサロンと化す。ブラジルのパールは庶民の憩いの場であり、毎日の生活には無くてはならない場所となっている。  
このパールで一番の話題はやっぱりサッカーであり、きのうの試合の感想にはじまり、土曜午後の試合中継を皆で一喜一憂しながら見る場となる。



<http://www.geocities.jp/nanbeipy2005/sp-001.html>

まちなかスポーツサロンに類する事例

## 【サロンづくりを展開する地域の人材の発掘と育成】

### サロン開設による人材育成

- ・チャレンジショップ的なサロン開設によって、将来的にまちなかに賑わいを生む店舗を経営する人材を育成するとともに、地域の情報や見どころを紹介できるような人材の発掘・育成を行う。
- ・来訪者との交流の場であることから、サロンの運営者にはおもてなし作法勉強会(地域の輪づくりプロジェクトで後述)の受講を義務付ける。

### 【スポーツ交流の核となる空間づくり】

ト伝の郷運動公園や鹿島ハイツを中心としたスポーツ交流核の創出

- ・ト伝の郷運動公園を市民スポーツ拠点施設として位置づけ、カシマサッカースタジアムと一体となったスポーツ交流核を創出する。
- ・鹿島ハイツ等を活用し、滞在施設とスポーツ施設（サッカーグラウンド等）が一体となり、スポーツ合宿等も可能な核空間を創出する。

（仮称）カシマ交流ステーションの開設

- ・スタジアムの周辺に、地域内の人や物、情報の交流拠点となるような「（仮称）カシマ交流ステーション」を設置し、試合の有無に関わらずスタジアム周辺が交流拠点となるような拠点性を高める。（地域の輪づくりプロジェクトにも後述）

試合開催のない日におけるスタジアム内の見学ツアーの実施

- ・スタジアム内の常設展示、スタジアム施設の見学ツアーなど、試合の無い時でもスタジアムを訪れた人が楽しむことができる仕掛けをつくる。

### 【鹿島アントラーズを活かした地域間交流の展開】

鹿島アントラーズと連携したスポーツ交流促進

- ・鹿島アントラーズの協力を得て、小学生などの地域内外の対抗試合に特別招待選手として出場してもらえる仕組みづくりを行う。
- ・また、元Jリーガーによるサッカー講習、スポーツ合宿指導等を行うことで、大学や社会人など、ハイレベルのスポーツ合宿から、小学生の入門者指導まで、レベルに合わせた合宿メニューを創出する。

### 【周辺地域と連携した「鹿行版ゴールデンプラン」の推進】

スポーツ関連情報の集約

- ・神栖市等と連携し、地域内や周辺地域内に存在している運動場やサッカーグラウンド、テニスコートの整備状況や、使用方法、申し込み方法などの情報をホームページ（ポータルサイト；後述のカシマの魅力プロモートプロジェクトにおいて詳述）によって提供する。
- ・また、施設情報と合わせてサーフィンの波情報や釣り情報の提供も併せて行う。

地域独自のニュースポーツの開発

- ・多くの人々が気軽に楽しめる、地域独自のニュースポーツの開発を行う。  
ホームページ（ポータルサイト）や地域内のイベントにおいて、ニュースポーツの募集や人気投票、競技方法の説明を行う。

ゴールデンプラン：1959年に西ドイツで全国的に始まった、スポーツ施設の整備・普及プロジェクト。「角を曲がれば運動場」をスローガンに、15年という長期的ビジョンで実施され、ドイツ国民は生涯を通じてスポーツを楽しむことが可能となった。

## 【鹿島神宮と門前町を核としたにぎわい空間の創出】

### 賑わいを生む門前町の再整備

- ・鹿島神宮の門前町において、参道西端における外来客用駐車場の整備、安心して歩ける歩車分離型の街路整備、休憩空間の創出、店舗併用住宅の建築促進などを推進し、門前町の活気や憩いの創出を図る。

### 「お祭り広場」の整備

- ・鹿島神宮の駐車場を「お祭り広場」として再整備し、各種イベントスペースとして活用する。

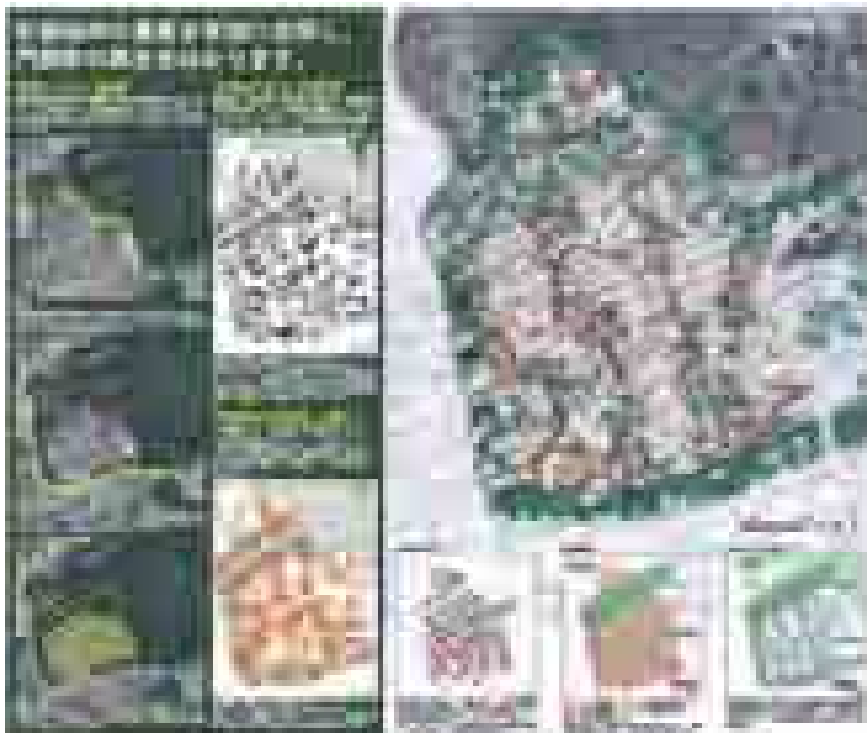
### 交流イベントの開催

- ・地域内外の交流をより一層活性化させるために、鹿島神宮（お祭り広場）を核とした新たな交流イベントを開催する。
- ・「お祭り広場」では、フリーマーケットやまちなかコンサート、「味比ベコンテスト」（カシマの魅力強化プロジェクト）などの様々な交流イベントを、地域内で行われている様々なスポーツ大会と連携して開催する。

### 様々なスポーツ大会との連携

- ・スポーツ大会参加者は、連携イベントでの特典が受けられるようにする。  
スポーツ大会の参加証を持参した人へ粗品を贈呈する。  
スポーツ大会での優勝者は、イベント内での割引制度が受けられる。

鹿嶋市を課題地として平成 16 年度、「鹿島神宮門前町の再生を目指したまちづくり」をテーマとした設計競技を実施。これらの提案をもとに市民・事業者・行政による協働のまちづくりを推進していく。（図面出典；設計競技の特選作品より）



【参考】鹿島神宮門前町の再生計画案

## 5 - 2 知的好奇心刺激プロジェクト

魅力

### プロジェクトの目的

#### <目的>

学びをテーマとした商品づくりによって、地区内の集客を高めるとともに、地域内の人々のカシマに対する誇りや愛着を醸成し、観光交流を支える人材を育成すること

鹿嶋市には、様々な歴史を積み重ねてきた鹿島神宮や世界をリードする技術の集大成である工業地帯、鹿島アントラーズを代表とするスポーツなど、カシマを特徴づける資源・施設が多数存在している。

そこで、「知的好奇心刺激プロジェクト」では、地域内に存在している資源を「学び」という角度から光をあてた、新しい商品の開発を行うこととする。「学び」という角度で光をあてることで、地域内の集客を高める新たな商品の創出が可能となる。また、地域内の人々が自ら学び、改めて知ることによって、地域に対する誇りや愛着を醸成することにつながり、カシマの観光交流を支える人材（来訪者に対する案内人：インタープリターなど）を育成することとなる。

### プロジェクトの概要

#### <概要> ~知的好奇心を刺激して集客を図る！！

地域を訪れた来訪者や地元住民の知的好奇心がわくような商品づくりと、カシマの観光交流を支える人づくりに取り組む

#### 【歴史を伝える史跡公園の整備】

##### 郡家跡地などを活用した史跡公園の整備

- ・郡家跡地などを活用し、鹿島神宮およびカシマのまちの歴史を伝える展示施設を擁する史跡公園を整備する。

##### 史跡公園における歴史講座の開催

- ・史跡公園の展示施設では、歴史を中心とした講座を開催する。
- ・歴史講座において、市内の埋蔵文化財等を巡るフィールドワークなどを開催する。

#### 【知的好奇心を刺激する様々な体験ツアーの開催】

##### インタープリターが同行する体験ツアーの開催

- ・日本の技術力を知ることのできる工業地帯の工場見学ツアーや、風力発電見学による環境学習ツアー、地域の農業・漁業の体験ツアー、鹿島神宮の文化財巡

り、カシマサッカースタジアム見学ツアーなど、人々の知的好奇心を刺激するような様々な体験ツアーを展開する。

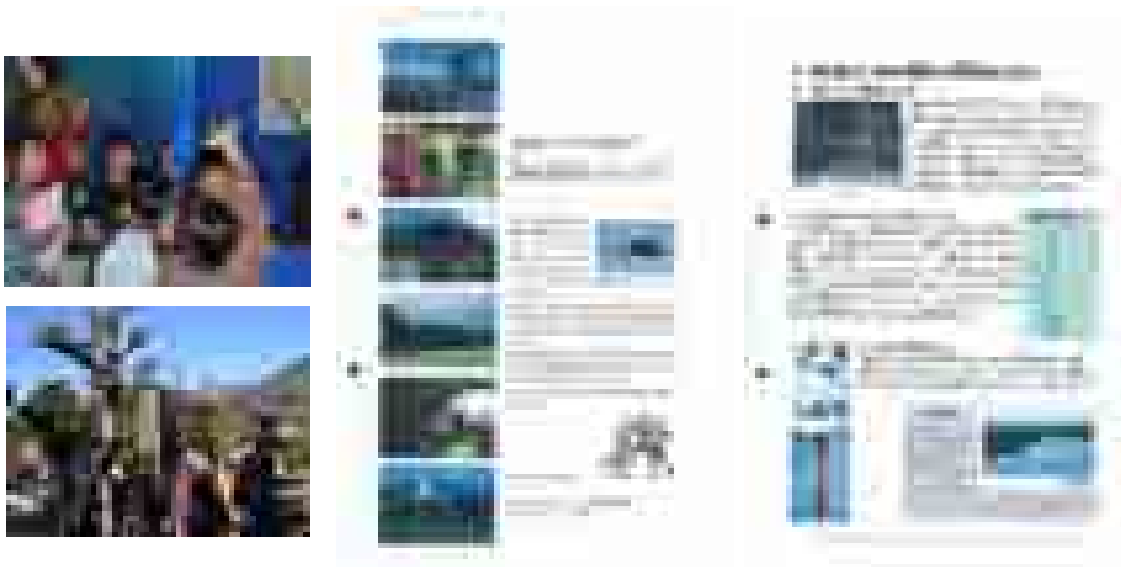
- ・体験ツアーには、人々の知的好奇心を満足させることが出来るように、インタープリターが同行しそれぞれの資源の説明を行う。
- ・サッカーや武道、サーフィンや釣り等、スポーツ体験メニューも充実させる。

#### 体験ツアーの事業化

- ・現在ボランティアで行っているツアーなども含め、プロのインタープリターによる有料ガイドツアーとしての事業化を図る。

インタープリター：自然や文化などの題材を使って参加者に様々な体験をさせることにより、単に見るだけでは気づかない、知ることの出来ないことを伝え、見学者それぞれの興味や理解を促していけるように活動する人。誰もが持っているちょっとした好奇心を最大限に利用して、見学者の知的・精神的な向上を促す。

地域の歴史や文化を「海」というテーマのもとに分かりやすく解説したテキストを地域内のNPO団体が作成し、市内の小学生を主な対象とした「歴史探検子どもツアー」を実施するなど、地域の子どもたちがふるさとについて楽しく学ぶことができるさまざまなツアーが開催されている。（千葉県館山市）



子どもたちを対象としたふるさと探検ツアーの実施に類する事例

#### 【インタープリター養成講座の開催】

##### インタープリター養成講座の開催

- ・地域の人々を対象に、カシマならではの歴史的、文化的資源などの利用・活用方法に関する学習講座を開催し、カシマの魅力を来訪者に紹介するインタープリター（案内人）を育てる。

##### カシマハンドブック・インタープリター養成ハンドブックの作成

- ・地域の人々の執筆による、カシマの歴史・文化・自然・遊びなどをまとめたカ

シマハンドブックを作成し、地域を学ぶためのテキストとして活用する。

- ・また、インタープリターとしての案内手法などをまとめた、インタープリター養成ハンドブックも合わせて作成する。
- ・インタープリター養成講座の修了生には修了証を発行し、カシマを案内する案内人としての登録を行う。

ガイドツアーのインストラクター（インタープリター）を養成するために、地域に即した事例を紹介しながらガイド技術について解説するハンドブックを作成している。（和歌山県）

**素材を選定する・選択する**

テーマが決まったら、そのテーマに  
沿って、調査を行いながら素材の発  
見を行います。あるいは、素材が充  
分にそろっている場合は、その中か  
ら必要な素材を選択します。重  
複の場合でも、いくらかの発着が目  
の前にたくさん蓄んでいるからとい  
って、その全員を出演させようとし  
て登場人物を増やすと、ストーリー  
はややこしくなって観客に伝わりませ  
ん。登場人物は必要な人数にとどめ  
て、その際に関する発着選出はな  
らば、起用しないこともあります。

物語（シナリオ）づくりにおいても、伝えたいメッセージを効率的に伝えるた  
めに、いい素材があってもテーマに合わない場合は取り上げないという選  
択もとりながら、素材を選択する必要があります。

テーマに沿った素材探し（動画版）

「何やらは  
がらひんか？」  
「君は僕をだ  
めだ。今日は君に合  
うね。おんねだ。  
おんねだ。」

**菜の花を出発点とした物語（シナリオ）づくり**

ひとつの素材『菜の花』を出発点として考えてみましょう  
和歌山県では、休耕田を利用して、菜の花を栽培して菜種油をとっています。  
他にも、農業を営むに、小麦、そば、米、野菜類を栽培しています。

菜の花 → 油 米 野菜 小麦

主テーマを『安全な食』とする場合	主テーマを『エネルギー循環』とする場合
菜種油押し、石臼での麦・そばの製粉、 小麦によるパン作りやそば打ち、地野 菜の料理（菜種油ドレッシングのサラ ダ）など	菜種の栽培、菜種油押し、菜種油の試 食、油粕肥料づくり、廃食用油から燃 料精製、ディーゼル燃料へ、排ガスの クリーン化、種の保存
そば、パン	菜種油、燃料
農とともにある暮らし、ゆっくりと時 間をかけてつくるものの価値を見出 してもらいます。	菜種をモデルとした、循環型社会ミ ニモデルを実験してもらいます。
時間とエネルギー	循環

インタープリター養成ハンドブックの作成に類する事例

### 【スポーツ指導者育成講座の開催】

#### スポーツ指導者育成講座の開講

- ・スポーツ先進のまちとしてのブランドを確立させるために、スポーツ指導者育成講座を開催し、それぞれのスポーツの楽しさや魅力を伝える指導者を育てる。
- ・インタープリター養成講座と同様に、修了生には修了証を発行しスポーツ指導者としての登録を行う。

### 【様々な分野の勉強会を市内一斉に行う「まちじゅう大学校」の開催】

#### まちじゅう大学校の開催

- ・既に各地区の公民館で行われている各種の講座や体験教室などについて、同時期開催や地区間の連携による開催を図ることによって、まちの歴史勉強会、サッカースキルアップ講習会など、様々な分野の勉強会が市内のいたるところで一斉に開催される「まちじゅう大学校」を開催する。
- ・「まちじゅう大学校」の講師は、スタート時は各地区の公民館活動で講師を務めている方や、ボランティアガイドとして活躍されている方々、それぞれの分野において造詣の深い地域の方々をお願いする。
- ・また、それぞれの分野において特定回数以上を受講した人には修了証を発行し、講師としての資格を与える。

## 5 - 3 健康づくり推進プロジェクト

魅力

### プロジェクトの目的

#### <目的>

地域内に存在している魅力を材料として、来訪者に提供する新しい魅力的な商品パッケージをつくりだし、地域内の集客を高めること

我が国では、人口構成の中で大きな割合を占める「団魂の世代」が、定年となるシニア層へと差し掛かってきている。こうした高齢者社会の進展に伴い、健康維持の気運が高まりをみせており、「健康づくり」というキーワードに注目が集まりつつある。

そこで、「健康づくり推進プロジェクト」では、地域内に存在している資源を「健康づくり」という角度から光をあて、来訪者に提供する魅力的な商品パッケージを開発することとする。こうした新しい商品パッケージの開発は、地域内の集客力を高めることとなる。

### プロジェクトの概要

#### <概要> ~ 「健康」は新たな地域づくりのキーワード！！

鹿島神宮の森のウォーキングや、スポーツ医学の活用などによる、「健康づくり」をキーワードとした新たなカシマの魅力づくりを行う

#### 【健康づくりの拠点となる健康いきいきセンター（仮称）の整備と観光活用】

##### 健康いきいきセンター（仮称）の施設整備

- ・地域の人々がトレーニングや体力測定、健康診断などのサービスが受けられる健康いきいきセンター（仮称）を整備する。

##### スポーツ科学やカシマサッカースタジアムの施設などと連携した魅力創造

- ・スポーツのまちカシマならではの、スポーツ科学、臨海工業地帯の企業による健康商品づくりにおける知見と連携した健康づくりプログラムの創出、あるいはカシマサッカースタジアムなどのスポーツ施設の連携活用などによって、地域外からの来訪者にもアピール力があり楽しめる健康づくりメニューを創出する。

##### 健康づくりツアーなどへの活用

- ・センターにおける健康診断・体力測定による個人個人にあわせた運動メニューの提供、あるいはウォーキングやサイクリングなどの運動後の健康診断などをパックにした健康づくりパックなど、健康いきいきセンター（仮称）の設備を活用した健康づくりツアーを創出する。

## 【鹿島神宮の森を要としたまちなかウォーキングコースの設定】

### 神宮の森を要としたウォーキングコースの設定

- ・まちなかの資源を巡る適度なウォーキングコースを設定する。ウォーキングコースは、距離や坂道の数等によってレベル分けを行った複数のコースを設定する。

### リラクゼーション空間としての神宮の森のPR

- ・前述の健康いきいきセンター（仮称）とともに鹿島神宮をウォーキングコースのルートの要におき、鹿島神宮の壮大な森をマイナスイオンに包まれるリラクゼーション空間としてPRする。

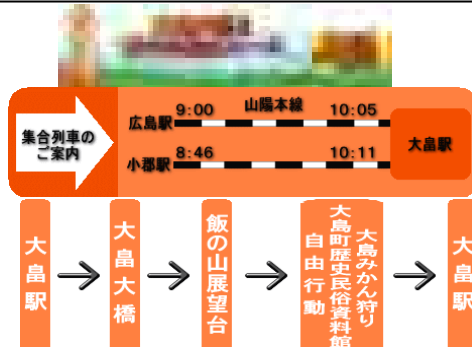
### ウォーキングコースにおけるロゴマークや距離標の設置

- ・ウォーキングコースでは、共通のロゴマークや距離標の設置、休憩が出来る場所の整備を行う。

### ウォーキングマップの作成

- ・ウォーキングコースを紹介したマップの作成を行う。マップには適正な区間タイム等も掲載する。

まちなかの資源を巡るウォーキングコースを設定し、ウォーキングコースを紹介したマップの作成が行われている。また、コースタイムの紹介も合わせて行われている。（JRてくてくウォーク）



JRてくてくウォーク

<http://www.ias.biglobe.ne.jp/jr-west-hiroshima/>



コースタイム JR  
六十谷駅(25分)-  
井関橋(40分)-  
墓の谷(50分)-  
井関峠(50分)-  
青少年の森展望広  
場(70分)-阪和道  
下(20分)-JR紀  
伊駅



JR六十谷駅からのウォーキングコース

ウォーキングコースの設定に類する事例

## 【水辺のサイクリングコースの設定】

### 水辺のサイクリングコースの整備・拡充

- ・鹿島灘や北浦の水辺をめぐるサイクリングコースを整備・拡充し、レンタサイクルシステム（新しい交通ネットワーク創造プロジェクトで後述）を活用した健康サイクリングの利用環境を整える。
- ・サイクリングコースのルートは、既存の公園施設等（はまなす公園、高松緑地公園等）を結ぶように設定し、既存施設の利用拡充を図る。

### 多様な自転車車両の用意

- ・自転車の車両には、高齢者向けの三輪自転車、電動補助付自転車や、スポーツサイクリング向け車両など、様々な人々が快適にサイクリングを楽しむことができるように多様な車両を用意する。

## 【スポーツ体験やスポーツ医学と連携した滞在商品開発】

### 滞在型の健康づくり旅行商品パッケージの開発

- ・スポーツ体験やスポーツ医学（リハビリテーションやマッサージ、適切な減量方法の指導等）を活用し、新たな健康づくり旅行商品パッケージを開発する。
- ・利用者は日帰りから長期滞在の日程で、それぞれに応じたコース（リフレッシュコース、ダイエットコースなど）を受けられるものとする。
- ・コースづくりにおいては、市内のスポーツ施設や健康いきいきセンター（仮称）の施設を活用する。

セラピーとはドイツ語、フランス語で「治療」を意味する言葉である。島の個性豊かな自然や風土を活かした新しい健康保養活動を「アイランドセラピー」と名付け、島における国民の新しい健康づくりを展開することにより、島の活性化を目指している。（国土交通省 都市・地域整備局 <http://www.mlit.go.jp/crd/chirit/therapy2.htm>）



スポーツ医学と連携した滞在商品開発に類する事例

【自然健康をキーワードとした商品開発】

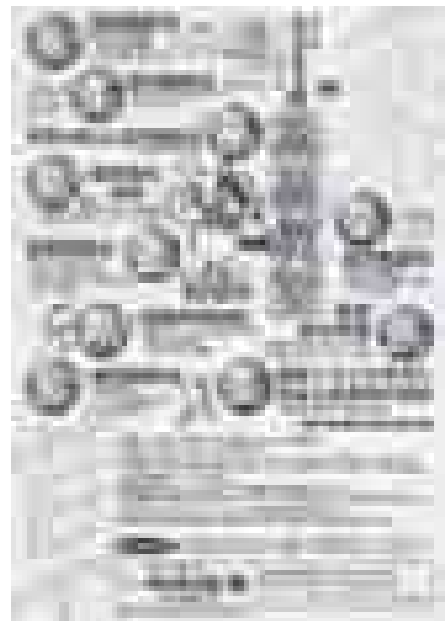
地域ならではの食を活かした健康づくり商品開発

- ・「カシマの魅力強化プロジェクト」で後述する新たな商品づくりと連携し、地域でとれる農産物・海産物を活用して、「健康づくり」をキーワードとした料理やお菓子の開発を行う。

先進技術による健康商品開発とPR

- ・地域内の企業の先進的な技学を用いた、企業ごとの健康商品の開発を依頼する。  
地域内のイベントやお祭りの開催時に、展示会やコンペ形式での競技会を開催して商品のPRを行う。  
競技会では、地域住民や来訪者による人気投票によって優秀作品を決定する。

「薬草の里づくり」を村づくりの目標として掲げ、地域の観光・福祉・教育に至るまで、薬草を中心に据えた取り組みが行われている。(岐阜県揖斐郡春日村)



<http://www.ginet.or.jp/kasuga/index.html>  
月刊観光No.430 p39-44

健康をキーワードとした商品開発に類する事例

## 【生き生き体験教室の開催】

健康づくりを推進する生き生き体験教室（農漁業体験）の展開

- ・市民農園の整備をすすめ、無農薬野菜などの健康食材を自らの手で生産し、消費することの出来る仕組みづくりを展開する。市民農園などでは、地域で農業を営んでいる方々が交代で常駐し、農作物の育て方の適度なアドバイスが受けられるようにする。
- ・海岸域における塩づくり体験や地引網体験、鹿島灘や北浦における釣り・スポーツフィッシング体験など、漁業や水辺の活動に関する体験メニューを創出する。
- ・まちなかや海水浴場近辺の宿泊施設、鹿島ハイツ、大野区域の別荘地などとも連携し、宿泊滞在しながら様々な体験が出来るメニュー（2泊3日コース等）を創出する。
- ・滞在型のメニューづくりにおいては、サッカーや武道、サーフィンや釣りなどのスポーツ体験や、はまなす公園におけるイベントやミニツアー（カシマの魅力強化プロジェクトで後述）を、農漁業体験と組み合わせ、多様な体験と交流を生むプログラムを創出する。
- ・自然に触れ、太陽の下で作業を行うことによる「体を動かすことでの健康づくり」と、無農薬野菜などを食することによる「食生活からの健康づくり」をあわせてPRする。

## 5 - 4 国際交流促進プロジェクト

魅力

### プロジェクトの目的

#### <目的>

カシマが有する国際的にアピール可能な資源によって、カシマの魅力をPRし、国内外からの集客を図ること

鹿嶋市には、サッカー（ワールドカップ、ジーコ）、塚原ト伝（サムライ）、鹿島神宮、工業地帯の技術力など、世界にアピールすることの出来る資源を多数有している。

そこで、「国際交流促進プロジェクト」では、これらの国際的にアピール可能な資源のPRを行い、外国人観光客という新しいマーケットからの集客を図るものとする。こうした、国外へのPRによって外国人観光客が地域内へ訪れることは、国内のマーケットへのアピールにもつながり、相乗的な地域への集客につながる事となる。

### プロジェクトの概要

#### <概要> ~世界への魅力のアピールによって国内外からの集客を図る！！

カシマに存在している国際的にアピールできる資源の発掘や整備、周辺地域との連携による国際交流の推進に取り組む

#### 【世界にアピールできる資源を活用した外国人誘致】

##### 外国人をターゲットとしたKASHIMAのPR

- ・カシマが有する世界に通用する資源を積極的にPRし、外国人観光客を誘致する。（例：鹿嶋市の伝統的な武道の見学や体験、鹿島アントラーズのサッカー、近代の臨海工業地帯の風景、先端技術の体験など）
- ・外国人観光客は、風景写真等よりも人々の体験や活動の様子に魅力を感じる傾向があることから、いきいきとした人々の表情がわかる画像・映像をパンフレットやホームページ（ポータルサイト）に掲載し、PRを行う。
- ・外国語に対応した案内サインやマップの整備・充実を図る。
- ・外国人観光客が訪れている様子や地域の人々とのふれあいの様子を紹介し、国際的な魅力が存在している地域であることを国内外に向けてアピールする。
- ・カシマサッカースタジアム等において、2002年ワールドカップの軌跡をPRする。

##### KASHIMAおよび日本の文化や生活を五感で感じるプログラムの開発

- ・カシマが有する資源、文化や生活、日本的な文化や生活を、ただ見るだけでなく、体験活動などを通じて五感で感じる事ができるプログラムを開発する。

### 【周辺地域との連携による魅力の向上】

水郷地域で連携した旅行メニューの開発とPR

- ・佐原や香取神宮、潮来などの周辺地域と連携したPRをすることによって、カシマの魅力を一層高め、外国人観光客の誘致を図る。
- ・日本の文化や生活を五感で感じることでできるプログラムを開発する。
- ・PRを行うためのパンフレットや、ホームページ（ポータルサイト）の情報提供においても、カシマだけの紹介を行うのではなく、周辺地域と合わせたカシマの魅力の紹介を行う。

### 【成田空港からのバスツアーの展開】

成田空港からの水郷バスツアーの展開

- ・外国人観光客が気軽に立ち寄れる、成田空港からのバスツアーを展開する。
- ・バスルートは、水郷地域を回遊できるように設定する。
- ・バスツアーは、日本への入国後や出国前の空いている時間を利用して参加してもらえるように、4～5時間程度の手軽な行程のものを用意する。

### 【通訳ガイドの人材の充実】

通訳ガイドの育成

- ・地域限定通訳案内士などの資格取得を奨励・支援しながら、外国人観光客を案内する通訳ガイドを育成する。
- ・通訳言語は英語のみならず、中国語や台湾語や、他の欧州各国の言語など、できるだけ多くの言語に対応できるように人材を発掘する。

周辺地域との連携による人材育成・人材の派遣

- ・周辺の市町村において通訳ガイドとして活動している団体や人々と、定期的な交流する機会を設け、様々な情報交換や勉強会を行う。
- ・また、通訳ガイドの人員の不足や対応不可言語の国からの観光客受け入れなどといった状況が生まれたときに、相互に人材を派遣することのできるネットワークを構築する。

### 【国際交流を促進するホームステイ制度の確立】

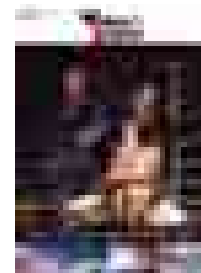
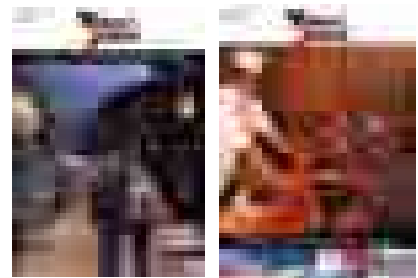
国際交流を促進するホームステイ制度の確立

- ・国際交流の促進の一助となる、登録制によるホームステイ制度を確立する。
- ・公募によってホストファミリーを募集し、受け入れ可能な対象や人数、日数などの登録を行う
  - 女性のみ、子どものみ、非喫煙者のみ、最大何名まで受け入れ可能、などの細かな区分について登録
- ・受け入れにあたっての注意事項や心構えなど、ホストファミリーとして登録された世帯に対しての講習会を定期的な開催する。
- ・地域内でのホームステイの状況や、ホストファミリーの紹介などをホームページ（ポータルサイト）上などで公開し、国内外に向けてアピールを行う。

国土交通省では、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」に基づき、外国人旅行者の訪日を促進する「グローバル観光戦略」を関係府省と協力して策定し、国土交通大臣がその旨の発表を行った（H14・12・24）。

本戦略は、日本人の海外旅行者が約 1,600 万人であるのに対して、我が国を訪れる外国人旅行者は、その 3 分の 1 以下である約 500 万人に過ぎないことから、その格差をできる限り早期に是正しようとするものである。

本戦略の中の一つに挙げられている、「外国人旅行者訪日促進戦略」の一環としてビジット・ジャパン・キャンペーンの実施が決定され、政府においては関係府省及び自治体、民間企業等が官民一体となって推進する母体「グローバル観光戦略を推進する会」を開催し、ビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部が立ち上げられた。これを受けて実施本部事務局が開設され、「2010 年までに 1,000 万人の訪日外国人誘致」を実現するための活動を開始した。



【参考】ビジットジャパンキャンペーン（国土交通省）

## 5 - 5 カシマの魅力強化プロジェクト

魅力

(ここだけ感強化・限定商品づくり)

### プロジェクトの目的

<目的>

カシマの魅力をより一層向上させ、来訪者に提供する魅力的な商品をつくりだすこと

鹿嶋市には、鹿島神宮の古武道奉納演武など、地域外からの来訪者にとって見ごたえのある祭りやイベント、あるいは鹿島灘の朝日や北浦に沈む夕日など、時間や季節に限定される様々な魅力が多数存在している。しかし、これらの魅力一つ一つでは認知度も低く集客力も弱いのが現状である。

そこで、「カシマの魅力強化プロジェクト」として、周辺地域のイベントやお祭りとの連携や、季節や時間によって限定される魅力のPRを行うことで、地域内の魅力を向上させることとする。人は、最優価値（日本初、日本一）、限定（今だけ・ここだけ・あなただけ）、優越（選りすぐられた）に惹かれる傾向があり、こうした“ここだけ感”を強化させることで、来訪者にとって魅力的な商品が創出されることとなる。

### プロジェクトの概要

<概要> ~ “今だけ” “ここだけ” “あなただけ” の限定感によって人の心をつかむ！！  
季節や時間に限定される魅力のPRや、周辺地域との連携も視野に入れた個々の結び付けによって“ここだけ感”の強化に取り組む

#### 【鹿島神宮を中心としたカシマならではの魅力の創出・PR】

鹿島神宮を中心とした新たな魅力の創出・PR

- ・鹿島神宮を宗教施設としてだけでなく、神話の宝庫、天然記念物としての森、武道の聖地等としての魅力を売り出す。

要石にまつわる「なまずグッズ」の販売（既往商品の集約、新規開発）

「神話を語るゆうべ」等のイベントの継続展開

森の遠足コースの紹介や休憩場所の創出

武道の聖地として全国の有段者が集るイベント・試合の継続開催

上記のイベント時における門前町やまちなかスポーツサロンと連携したお祭りや食事の提供等の実施

### 【はまなす公園におけるひと味違う魅力づくり】

#### はまなす公園における交流イベントの開催

- ・はまなす公園の広い空間を活用し、海水浴客やサーフィン客、生き生き体験教室参加者などを中心として、地域内外の様々な人々の交流を生むイベントを開催する。夜間のイベントなども行うことにより、滞在の魅力を創出する。

スポーツ合宿の集中時やスポーツ大会・Jリーグ開催時における、様々なスポーツマンが集うスポーツ交流イベント

季節毎の空の観察会

夜の交流イベントとなる観月会や星見の会、キャンプファイヤーなど

#### はまなす公園を中心としたひと味違う小さな旅（ミニツアー）の実施

- ・五感で感じることができるミニツアーを実施する。ツアーのインストラクターとして、地元の人が地域の暮らしや風土を解説しながらめぐること、五感で感じる魅力のみならず、その奥にある意味や暮らしとの関わりなどを知ることができるような、ひと味違うツアープログラムを創出する。

潮騒などの音をめぐる「耳を澄ますツアー」

季節の花畑ウォーキング

いろいろな木々に触れてみるツアー

はまなす公園虫取り合戦                      など

### 【地域内の資源の結び付けや、周辺地域との連携による魅力の向上】

#### 市内や周辺地域における複数の観光資源のパッケージ化

- ・鹿嶋市内や周辺地域の観光資源やイベントをパッケージ化させたPRを行い、相乗的な集客力の向上を図る。
- ・例えば、開催時期が同じである潮来市「あやめ祭り」と鹿島神宮「古武道奉納演武」を連携させ、同一の宣伝媒体を用いたPRにより相乗的な集客を図る。
- ・地域内で行われている様々なイベントやお祭り・資源などを結び付け、片方のイベントや資源を訪れた証を持参した人に、割引や粗品のプレゼントをするなどの仕組みづくりを行う。

### 【季節や時間の限定の魅力を満喫できる場の創出】

#### 朝日・夕日をゆっくり眺められる場の創出

- ・鹿島灘の朝日や、北浦の夕日などを一年を通じてゆっくりと眺めることのできる親水空間を創出する。

#### 季節の花を楽しめる花畑の創出

- ・はまなす公園の周辺を中心として、休耕田や空き地、道路沿道などにおいて、季節の花が咲き乱れる花畑を創出する。

### 【季節や時間に限定される魅力のPR展開】

#### 朝日・夕日や旬の産物など時間に限定される魅力の情報発信

- ・鹿島灘の朝日や、北浦の夕日の時刻情報など、時間に限定される魅力の情報発信を行う。

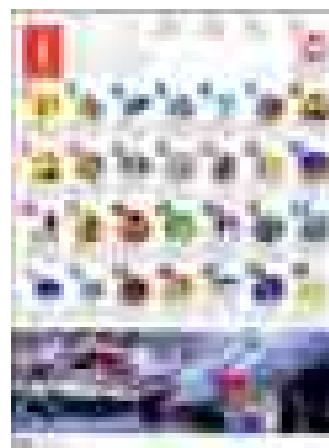
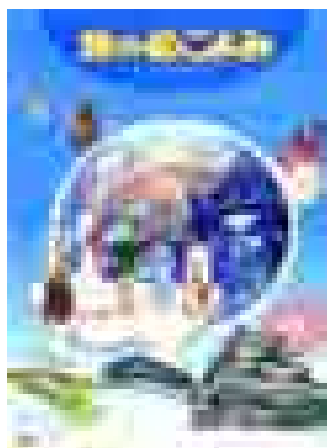
- ・地域内の農産物や、海産物の旬の情報等の季節限定の魅力の情報発信を行う。
  - ・地域内の資源の“今だけ”“ここだけ”情報をホームページ（ポータルサイト）などによって公開する。
  - ・ホームページでの情報発信は、その日のリアルタイムな情報を随時更新するなどして、情報の陳腐化を防ぐ。
- “今だけ”“ここだけ”情報の投稿システムづくり
- ・ホームページ（ポータルサイト）では、地域住民や、来訪者が見つけた“今だけ”“ここだけ”情報を投稿できるようにする。

#### 【イベントカレンダーの充実】

##### イベントカレンダーの作成

- ・地域内で行われているイベントやお祭りの場所や概要を網羅したイベントカレンダーの作成を行う。
- ・イベントカレンダーには、連携しているイベントやお祭りを巡ることで、どのような特典を得られるのかを明記し、地域内への来訪を誘う。

毎日、日本や世界のどこかで行われているお祭りやイベントを、開催日ごとにイラストで紹介している。観光スポットも大判写真で案内している。（JTB カレンダー「旅の絵ごよみ」）



イベントカレンダーの作成に類する事例

#### 【地元の農産品・海産品や伝統工芸・生活文化を活かした商品開発と直売所の整備】

##### 地域の産物を活かした食の商品開発

- ・地域で取れる農産物・海産物を活かした料理やお菓子の開発を行う。  
各農家、各集落に伝わる独特のレシピやメニューを活用した地域ならではの食べ方、調理方法による「カシマの料理・お菓子」の開発（例；ホッキラーメン、ホッキカレー、ホッキ丼など）

##### 伝統の「技」を活用した商品づくり

- ・周辺地域の生活に根付いた昔ながらの工芸品、昔ながらの「技」を活用した新

たな商品づくりを行う

食卓の道具：器、箸置き、ランチョンマットなど

バス用品：洗面器、石鹸置き、ボディブラシなど

様々な商品をPRするコンテストの開催

- ・地域で行われているイベントやお祭りの開催時に「味比べコンテスト」や「カシマ【技】フェスティバル」を合わせて開催し、開発した料理やお菓子、土産物についてのPRを行う。

各農家、各集落などが開発した独自の料理やお菓子、土産物を出品してもらい、地域の様々な「食の魅力」や「技」をPR

料理・工芸づくりを体験する講習会の開催

- ・カシマならではの料理や土産物の作り方を見学・体験することの出来る講習会を開催する。

様々な旬の産物と出会うことができ交流の場ともなる直売所の整備

- ・カシマサッカースタジアム周辺に「(仮称)カシマ交流ステーション」(地域の輪づくりプロジェクトにおいても後述)を整備し、上述の商品を一体的に提供しPRできる場を整備する。また、コンテストや講習会も開催し、農漁業や工芸を通じて人々の交流が生まれる場を創出する。

#### 【地域の魅力を探索・発信する「(仮称)カシマ鑑定団」の結成】

地域の魅力を格付けして発信する「(仮称)カシマ鑑定団」の展開

- ・地元の人々によって結成された「(仮称)カシマ鑑定団」が、地域に存在している魅力を実際に体験し「三ツ星」「二ツ星」「一ツ星」などの鑑定を行う。
- ・鑑定した結果は、ホームページ(ポータルサイト)やイベントカレンダーなどに表記し、地元のお勧めの魅力としてPRする。

地域特産の梅を使った加工・調理法のアイデアを、商品化も見据えながら広く募集している。（和歌山県田辺市）



紀州梅の原型を生かした新しい加工・調理方法のアイデアを募集します！  
グランプリに選ばれた作品については紀州田辺の特産品として商品化を検討します。

青梅部門... 青梅を加工、調理したもの  
梅酒の実・梅ジュースの実部門... 梅酒の実や梅ジュースの実を加工、調理したもの  
梅干し部門... 干し梅・漬け梅を加工・調理したもの

コンテスト応募作品には、紀州産（JA紀南など）の小梅、古城梅、南高梅のいずれかの青梅（生）または、梅酒の実、梅ジュースの実、梅干しを原型を生かして使用してください。（ねり梅は対象外とします。）



<http://www.osk.3web.ne.jp/~sector88/>

地元の農産物を活かした商品開発に類する事例

伝統的な伊賀焼きの窯元に併設された陶器の販売スペースにおいて、その陶器を用いた料理レシピを紹介したパンフレットを作成している。（長谷園；三重県伊賀市の窯元）



地域の伝統工芸と食とを組み合わせた事例

## 5 - 6 新しい交通ネットワーク創造プロジェクト

交通

### プロジェクトの目的

#### < 目 的 >

新たな交通ネットワークを整備し、来訪者や地域住民の地区内の回遊性を高めること

鹿嶋市には、広大なスケールを有している工業地帯や、多様な水辺空間を有している港湾や鹿島灘・北浦などの様々な資源が存在している。また、地域内や近隣市町村には、江戸期に流行した東国三社詣の参詣箇所である鹿島神宮、香取神宮、息栖神社が存在している。しかし、それらはそれぞれの距離が離れていることもあり、快適に回遊することが出来ないのが現状である。

そこで、「新しい交通ネットワーク創造プロジェクト」として、地域内にある既存の交通資源の活用や、江戸期に隆盛をみた舟運の復活などの二次交通の充実を図ることとする。こうした二次交通の充実は、地域内の回遊性を高めるとともに、地域外との連携強化につながるものとなる。

### プロジェクトの概要

#### < 概 要 > ~ 新交通ネットワークによって地域を巡る！移動を楽しむ！！

鹿嶋市を囲む多様な水辺空間と近年の発展を支えた交通資源を活かし、新たな交通ネットワークの整備を行う

#### 【鹿島神宮・香取神宮・息栖神社を結ぶ舟運の復活】

##### 水郷三社をめぐる舟運ルートの創出

- ・江戸期に隆盛をみた水郷地帯の舟運を復活させ、鹿島神宮、香取神宮、息栖神社を巡る水上ルートを創出する。
- ・舟の上では、舟運の歴史や、東国三社詣の歴史などの紹介や、その時期に行われているイベントの紹介を行う。

##### 鹿島神宮への栈橋の設置

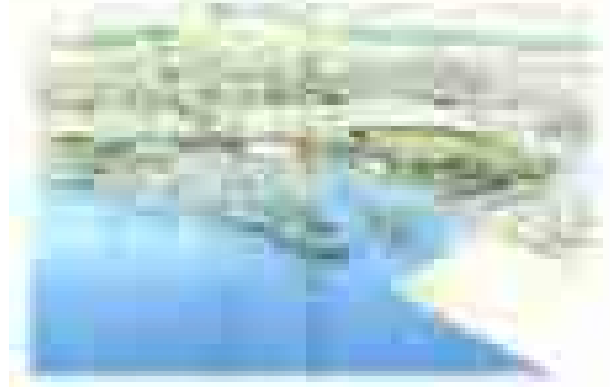
- ・舟から鹿島神宮へと参詣するための栈橋を設置する。

#### 【鹿嶋市とその周辺を巡る快適なドライブルートの創出】

##### 鹿嶋市とその周辺を巡る快適なドライブルートの創出

- ・鹿嶋市とその周辺地域を含めた広域的な地域をめぐる主要ルートにおいて、沿道景観の整備や共通のデザインによるサイン類の設置などを行うことにより、快適に地域をめぐることができるドライブルートを創出する。

現在佐原市の利根川河川敷（国道 356 号沿い）において、「佐原広域交流拠点」の整備構想が検討されている。この中では、利根川の水辺空間を生かしたさまざまな施設・機能の導入が構想されている。鹿嶋市との利根川を通じた舟運ネットワークの形成への活用可能性もあるものと思われる。



【参考】佐原広域交流拠点の整備

#### 【地域内の観光の足にもなる新たなバスルートの創出】

##### 地域内回遊への高速バスの活用

- ・高速バスを、地域内での乗降を可能とするなど、地域観光の足として活用する。
- ##### 水郷地域をめぐりながら成田空港と鹿島神宮とを結ぶバスルートの創出
- ・成田空港から佐原、潮来を經由して鹿島神宮に至る新たなバスルートを創出し、水郷三都をめぐる観光客や成田空港を利用する外国人観光客の誘客を図る。

#### 【鹿島臨海鉄道貨物線を活用した新たな交通ネットワークの創出】

##### 鹿島臨海鉄道貨物線の観光への活用

- ・鹿島臨海鉄道貨物線を活用し、市内から工業地帯を結ぶ新たな交通ネットワークを創出する。
- ・珍しい電車やユニーク電車の走行、イベント開催などによって集客力を高める。

#### 【港湾や鹿島灘、北浦などを巡る水上ルートの創出】

##### 海からカシマを眺める水上ルートの創出

- ・港湾から見る工業地帯や、鹿島灘から見る市内の景色など、普段見ることの出来ない多様な水辺景観を巡る水上ルートの創出を行う。
- ・また、単に港湾や鹿島灘を巡るだけではなく、ランチクルーズやディナークルーズ等のような魅力を付加したコースも用意する。

##### 北浦をボートでめぐる水上ルートの創出

- ・北浦の船だまりなどの利用や簡易栈橋の設置を進め、ボート乗り場を創出する。
- ・ボートの利用は、ひとつのボート乗り場から出て帰ってくるレクリエーション利用だけでなく、ボート乗り場に自転車を準備しておくことにより、別のボート乗り場に移動して、自転車 ボート 自転車と乗り継ぎ利用をできるようなシステムの構築を図る。

### 【地域回遊の拠点となる情報交流コーナーの創出】

地域の情報を集約して提供する情報交流コーナーの設置

- ・市内観光の主要地点（鹿島神宮参道、カシマサッカースタジアム、はまなす公園など）において、地域観光のための情報提供や体験ツアー、ガイドの申し込み受付などを行う情報交流コーナーを設置する。
- ・情報交流コーナーには駐車場とレンタサイクルステーションを併設し、自家用車から降りて二次交通や徒歩によって地域を巡ることができるようにする。
- ・情報交流コーナーでは、水郷地域を巡るドライブルートの案内、周辺市町村も含めた観光情報の提供を行う。

鹿島神宮参道では、情報交流コーナーや駐車場は参道（大町通り）の西端付近に設置し、参道を歩いて鹿島神宮参詣ができるようにする。また、情報交流コーナー付近に高速バスが停車するように働きかける。

### 【地域回遊を楽しめる観光タクシーの活用】

地域を案内する観光タクシーの充実

- ・インタープリター養成講座とタクシー事業者との連携により、市内観光、水郷観光のガイド役となる観光タクシーの充実を図る。
- ・情報交流コーナーやホームページ（ポータルサイト）での事前申し込みにより、観光タクシーの乗合利用等の利便性の高いサービスを創出する。

### 【地域回遊の拠点となるレンタサイクルステーションの創出】

情報交流コーナーと併設したレンタサイクルステーションの設置

- ・周辺地域を気軽に回遊することが出来るように、市内観光の主要地点となる情報交流コーナーにレンタサイクルステーションを併設し、レンタサイクルシステムを構築する。

多様な自転車車両の用意

- ・自転車の車両には、高齢者向けの三輪自転車、電動補助付自転車や、スポーツサイクリング向け車両などを用意し、様々な人々がサイクリングを楽しむことができるようにする。

シャトルバスの運行とあわせた快適なレンタサイクルシステムの構築

- ・各レンタサイクルステーションにおいては、レンタサイクルの乗り捨てシステムを設け、レンタサイクルステーション間の片道利用を可能にする。
- ・ステーション間の片道利用者の輸送と、乗り捨てた自転車の輸送のために、ステーション間を結ぶシャトルバスを運行する。
- ・シャトルバスは、地域内の主要観光施設や主要地点を結び、バスによる地域観光や地域の人々の足としても活用できるようにする。

道の駅を起点とした回遊コースを複数テーマによって設定し、クジラのロゴをあしらった標識を設置している。また、メーカー、大学研究室と協力し、高齢者にも乗りやすい三輪自転車を開発して鉄道駅や道の駅を起点としたレンタサイクルに活用している。レンタサイクルのパンフレットには、利用者の利便性を考慮し、バスや鉄道の時刻表も掲載している。  
(千葉県千倉町)



レンタサイクルを活用した回遊性創出に類する事例

#### 【ルートマップの作成】

各種の交通ネットワークの情報を集約して提供するルートマップの作成

- ・それぞれの交通ネットワークのルートや発車時刻、見どころなどの情報を提供するルートマップの作成を行う。
- ・また、それぞれの交通ネットワークのルートはホームページ(ポータルサイト)上においても公開し、幅広くPRを行う。

#### 【トイレ貸しますシステムの展開】

「トイレ貸しますシステム」への協力要請

- ・ウォーキングコースやサイクリングコース付近において、来訪者へのトイレ貸し出しに協力してくれる事業者等を募り、「トイレ貸しますシステム協力店」としての共通のロゴマークを掲示する。

ルートマップ等における協力事業者の広告掲載

- ・協力事業者については、ルートマップ上へのミニ広告掲載などを行う。

## 5 - 7 カシマの魅力プロモートプロジェクト

情報

### アクションプランの目的

#### < 目的 >

鹿嶋市の様々な資源、地域全体の魅力を、まず多くの人々に知ってもらい、そして実際に来てもらうこと

これまでの6つのアクションプランの展開は、鹿嶋市における様々な魅力資源の発掘や創出、連携による魅力の増大を図るとともに、それらをめぐるしくみと施設を整えるものである。しかし、実際に人に訪れてもらい、これらの魅力を楽しんでもらうためには、効果的なPRを行うことによってまず多くの人に鹿嶋市の魅力を知ってもらうことと、訪れた人が満足するような受け入れ体制を整えることが求められる。

そこで、「カシマの魅力プロモートプロジェクト」として、鹿嶋市の魅力を一体的に発信し、実際に人々に訪れてもらうためのしくみと体制を整えることとする。

### アクションプランの概要

#### < 概要 > ~カシマの魅力を広く知ってもらおう!!

鹿嶋市にふさわしいテーマ、物語性のもとに点在する資源を束ね、地域内外の多くの人に認知され、訪れてもらうための体制を整える

#### 【明治期に選定された従来鹿島八景の復活】

##### 鹿島八景を復活させる視点場の整備

- ・明治期に選定された従来八景を復活させ、その風景の保全、維持管理を行う。
- ・八景を良好に眺めることのできる視点場の整備を行い、展望スポットとして整備する。
- ・展望スポットには、写生などの創作活動や休憩が出来るようにベンチなどを配置する。
- ・八景として選定されている場所を良好に眺めることのできる展望スポットには、共通のロゴマークを設置する。

#### 【カシマの新しい八景づくり】

##### 様々な光の当て方によるカシマ新八景の創出

- ・工業地帯の夜景や電車の車窓からの風景、サッカーのゴールの瞬間やスポーツフィッシングなどの現代的な魅力を付加した新八景を様々なテーマに応じて創出する。

ex : カシマ躍動八景、カシマ神秘八景、カシマ夜景八景

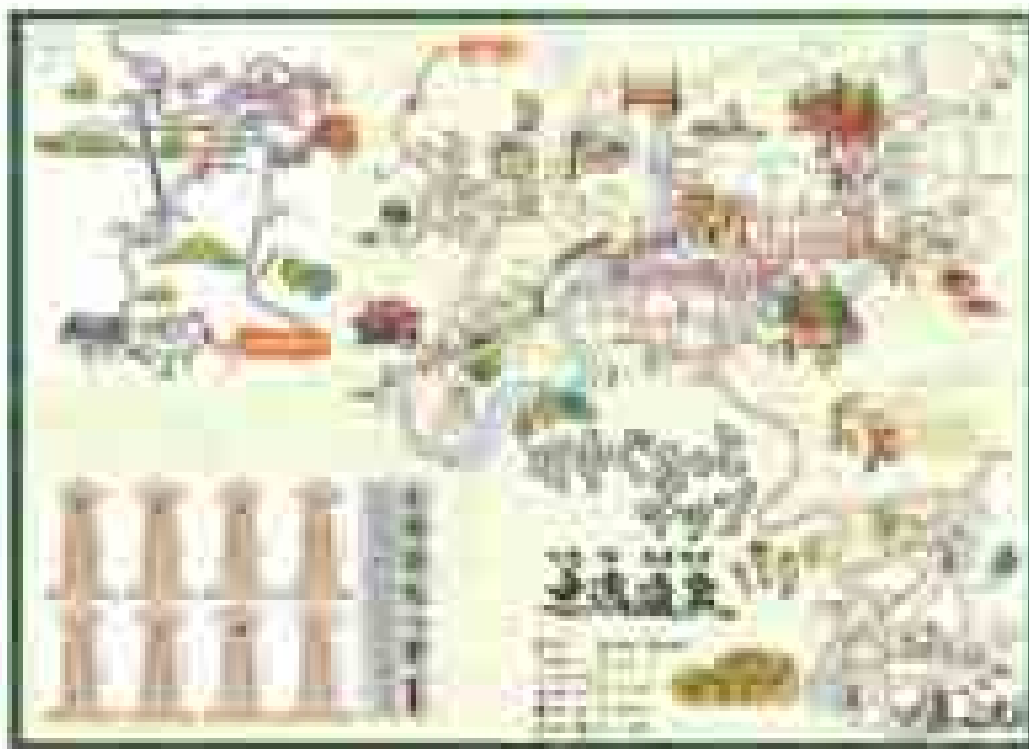
### 新八景コンクールの開催

- ・新しい八景を選定するための「カシマ新八景写真コンクール」を開催し、作品の募集を行う。
- ・コンクールの入選作品による「カシマ新八景写真展」を開催する。コンクールの応募者に対しては、写真展の案内状等を送付して再来のきっかけづくりを行う。
- ・コンクールおよび写真展は、毎年異なるテーマをひとつ設定して実施するなど、継続的に開催する。
- ・応募作品はホームページ（ポータルサイト：地域の輪づくりプロジェクトで後述）などでも公開し、地域住民などによる投票によって新八景を選定する。

### 五感＋第六感に訴える魅力のパッケージ化

- ・八景だけにこだわらず「カシマの音風景」の選定や、「鹿島神宮の七不思議」の復活、「カシマの新七不思議」、「カシマの匠」の認定なども合わせて行い、カシマに存在している資源に対して様々な角度から光をあてる。

福島県福島市土湯温泉町では、「土湯温泉八景」を選定し、まち歩きマップによって地域内の資源と共に八景の紹介を行っている。（福島県福島市土湯温泉町）



八景： 晴嵐（せいらん）、夕照（せきしょう）、晩鐘（ばんしょう）、夜雨（やう）、帰帆（きはん）、秋月（しゅうげつ）、落雁（らくがん）、暮雪（ぼせつ）などの8つの要素を評価の中を含む風景観賞の方法である。

「季節×時刻×天候」の限定された風景を選定することによって 観光客への宣伝や誘致 オフシーズン対策 滞在や宿泊の必然性の創出 リピーターの確保 来訪者の活動域の拡大を図ることができる。

### 新八景づくりに類する事例

## 【まち歩きマップ・サイクリングマップの作成】

### まち歩きマップ・サイクリングマップの作成とシリーズ化

- ・魅力資源の場所や概要、見ることの出来る季節などを網羅したマップを作成し、地域内に存在している様々な魅力のPRを行う。
- ・一つのマップにすべてを集約するのではなく、それぞれのテーマに応じたマップをシリーズ化して作成する。
  - 「新旧八景マップ」、「七不思議マップ」、「音風景マップ」など
- ・マップは、はがきサイズに折りたたみ、持ち運びやすい体裁としてシリーズ化する。

様々なテーマに応じたまち歩きマップを体裁やデザインを揃えてシリーズ化して発行することで、まちが持つ多様な魅力を浮き彫りにしている。地図の中にはトイレの貸し出しへの協力店の名前と位置が示されている。（千葉県佐原市）



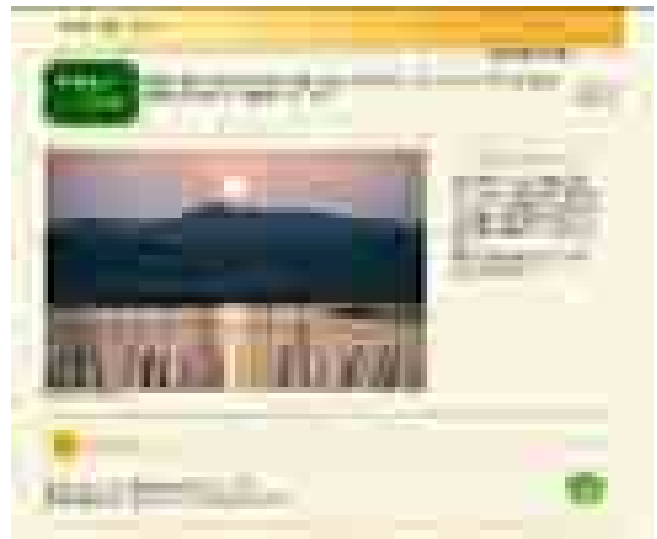
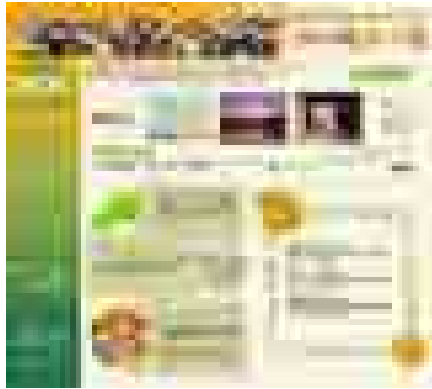
まち歩きマップ作成とシリーズ化に類する事例

【地域内の魅力に関する情報を一元的に提供するポータルサイトの開設】

ポータルサイトの開設

- ・地域全体の魅力・資源に関する情報を一元化し、束となった情報を発信するために、ポータルサイト（地域の総合情報窓口）を開設する。
- ・ポータルサイトにおいては、情報の発信とともに、地域住民や来訪者からの投稿などを受け付けることができるようにし、情報の受発信が可能な双方向型のサイトとする。
- ・また、国内外への地域の魅力をPRを行うために、英語などの外国語対応のページも用意する。

伊勢志摩 17 市町村(2001 年当時)を対象として一般公募した伊勢志摩地域の『きらり』（風景や観光スポット、食べ物など、地域の様々なたからもの）を紹介するとともに、『きらり』に対する『おすすめ』も書き込むことができる参加型サイト。民間ボランティアと県職員によって発意され、継続的に運営されている。  
(伊勢志摩きらり千選 <http://www.kirari1000.com/> ; 三重県伊勢志摩地域)



地域情報の一体的な受発信を行うポータルサイトの事例

【鹿嶋市で活躍する人「匠」の魅力をもPRする情報発信】

「匠」情報の集約とPR

- ・鹿嶋市で活躍する「匠」の情報を一元的にPRし、地域における「人」の魅力を発信する。

【鹿嶋市でできる体験活動内容の情報発信】

体験活動情報の集約とPR

- ・鹿嶋市の資源の存在と解説のみを情報として発信するのではなく、地域で実際に楽しむことができる活動内容を一元的に提供する。

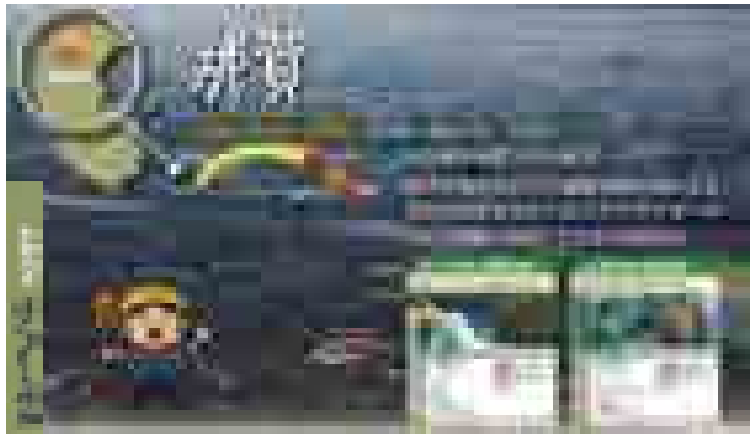
体験ツアー / 健康パック / 生き生き体験教室 / スポーツ施設利用 /

サーフィン波情報 / 釣り情報 / 工場見学・産業観光 / イベント / まちじゅう  
 う大学校 / 各種講座 / 外国人向けバスツアー など

- ・ポータルサイトにおいて、地域における体験活動内容をデータベースとして提供する。

体験活動カードの作成と配布

- ・データベースの内容をひとつの体験活動ごとのカード形式として、地域の主要観光施設やサイクルステーション、宿泊施設などに設置する。



和歌山県内の体験活動内容に関する情報を、ホームページや冊子パンフレットなどによって一元的に提供している。ホームページでは、体験者の感想や体験リーダー（インタープリター）からのメッセージなども掲載している。個々の体験活動の情報を名刺サイズのカードに掲載し、観光施設や宿泊施設などに設置することで、現地での情報提供も行っている。また、これらの体験メニューの申し込み受け付けを一元的に受け付けたり、体験旅行のコーディネートを行ったりする事務局組織も設置されている。

(和歌山県ほんまもん体験

<http://wiwi.co.jp/kanko/taiken/index.html>)

(体験メニューカード)



地域での体験活動内容に関する一元的な情報提供に類する他地域事例

## 【周辺地域との連携による地域観光のコーディネート体制づくり】

### 広域的な地域観光の情報集約体制づくり

- ・利用者の利便性を考慮し、鹿嶋市における観光やイベント、体験活動に対する申込み・問合せ窓口となる連携組織を設立し、情報を一元化する。ポータルサイトの管理運営も一元的に行う。水郷三都観光推進協議会（地域の輪づくりプロジェクトで後述）などを通じて周辺地域との連携が深まった段階では、鹿嶋市だけでなく広域連携による申込み・問い合わせ窓口へと移行する。

### 旅のコーディネートの体制づくり

- ・鹿嶋市とその周辺地域での様々な体験活動をめぐる回遊プラン（旅のプラン）を作成して提供するコーディネート機能も付加する。
- ・鹿島臨海工業地帯において、各企業が受け入れる工場施設見学の情報提供や受付についても、企業との調整の上で当該窓口を集約する。

## 【来訪者の満足度の向上によるリピート誘発と新たな顧客の開拓】

### 体験活動内容の品質管理

- ・連携組織において、鹿嶋市とその周辺地域での様々な体験内容を一元的に管理し、来訪者アンケート等によって品質のチェックを定期的に行う。

### 体験活動メニューの開発

- ・地域全体の旅の魅力を向上させるという視点で、カシマの体験の核となる分野の深化、あるいは他分野に比べて不足していると思われる分野の充実のために、新たな体験活動メニューの開発を行う。

### 総合学習の場としての活用

- ・地域内外の学校にPRし、総合学習の場としての活用を図る。

### 利便性の高いパッケツアーの開発

- ・地域の交通事業者とのタイアップにより、地域での旅の利便性の向上や、限定的なパッケツアーの開発などを行う。

## 5 - 8 地域の輪づくりプロジェクト

おもてなし  
(ホスピタリティ)

### プロジェクトの目的

< 目 的 >

観光交流促進に向けて地域内全体のおもてなしを向上させ、地域の魅力を高めること

鹿嶋市には、数多くの魅力的な資源が存在している。また、本構想におけるプロジェクトの中でも、新たな魅力資源の発掘や、既存資源の新たな魅力の発見・創出も実施することとしている。しかし、来訪者にとって一番魅力的な資源は、地域に住んでいる人々であり、その人たちとのふれあいである。また、地域がいくら魅力的な資源を有していたとしても、一人の地域住民の印象が悪かったことによって地域全体の印象を悪くしてしまうこともある。

そこで、「地域の輪づくりプロジェクト」として、観光交流促進に向けて地域内全体のおもてなしの向上を図ることとする。こうした地域のおもてなしを向上させることは、地域の魅力を高めることにつながる。

### プロジェクトの概要

< 概 要 > ~ 地域全体でのおもてなしの推進 !!

地域内の魅力の再発見による誇りや愛着の醸成や、おもてなし作法勉強会などの開催によって、来訪者に対する地域のおもてなしを向上させる。

#### 【「水郷三都観光推進協議会」による活動展開】

「水郷三都観光推進協議会」による活動展開

- ・ 佐原市や潮来市といった同じような水郷地帯の風景を有している地域との連携を強化するために「水郷三都観光推進協議会」による連携体制のもとで、各種の取り組みを推進する。
- ・ 協議会では、三市が一体となった国内外の観光交流の推進、水郷地域の一体的なプロモート、地域間の人材交流などを行う。

#### 【地域内の連携協力によるまちなかのおもてなしの向上】

地域住民や各店舗によるお勧め情報の紹介

- ・ 地域住民が必ず一つの地域のお勧め情報を来訪者に紹介できる仕組みづくりを展開する。

住民の情報提供方法としては、「あそこ・これはお勧めできない」ではな

く、「あそこ・これはお勧めです」を基本スタンスとする。

- ・地域内の店舗や各資源には、他の店舗や資源のお勧め情報を掲示し、相乗的に各資源の魅力を向上させる。

「勧めてもらっているのだから頑張ろう」「勧められているのだから頑張ってください」

「カシマまちなかウォッチング」の開催

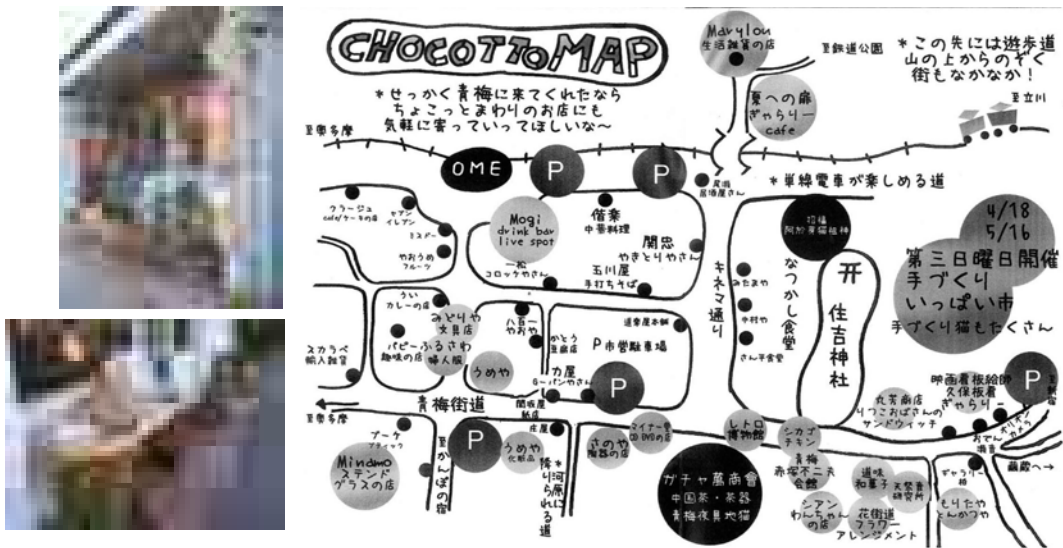
- ・地域のお勧めスポット探しのために「カシマまちなかウォッチング」を開催する。

地域住民がまちなかを歩くことによって、カシマの魅力を再認識することができる。

まちなかでの連携による宿泊滞在の魅力向上

- ・宿泊施設の設備投資による魅力向上だけでなく、まちなかでの食事と宿泊のセット（宿食分離）、飲食店や居酒屋と宿泊施設との提携の推進、宿泊施設におけるまちなか散策お勧め情報の提供など、まちなか全体での連携によって、宿泊滞在の魅力を高める。

青梅駅付近の商店街では、店先にチラシを置くスペースを設け、近隣他店の案内マップやチラシを相互に設置している店舗が見られる。散策をする来訪者は、お店からお店へとつながる情報をもとに、まちを巡ることができる。（東京都青梅市）



店先での近隣他店のチラシ設置によるお勧め情報の提供の事例

#### 【おもてなし作法勉強会の開催】

「おもてなし作法勉強会」の開催

- ・地域のおもてなしを向上させるため、地域の観光に関わる全ての人を対象に「おもてなしの作法勉強会」を開催する。
- ・修了生に対しては修了証を発行し、「おもてなしマスター」として登録を行う。
- ・一度登録された人においても、年に数回の継続的な勉強会の参加を促す。

「おもてなし作法ハンドブック」の作成

- ・おもてなし作法ハンドブックなどを作成し、勉強会のテキストとして活用する。

【地域の交流の拠点となる「(仮称)カシマ交流ステーション」の設置】

「(仮称)カシマ交流ステーション」の開設

- ・カシマサッカースタジアム周辺において、地域内で産出される農水産物などの直売所や、地域内の体験活動に対する一元的な申し込み・問合せ窓口となる施設を整備し、地域内の人や物、情報の交流拠点となるような「(仮称)カシマ交流ステーション」を設置する。

【「(仮称)かしま元気倶楽部」の結成】

「(仮称)かしま元気倶楽部」の結成

- ・「(仮称)カシマ交流ステーション」を核として地元の人が任意で集まり、鹿嶋市ならびに周辺地域における観光交流やまちづくりについて話し合い、実践する倶楽部組織、「(仮称)かしま元気倶楽部」を結成する。
- ・他市の同様な組織との連携を図り、広域的なネットワークを構築する。